

C-67 人体モアレの自動処理(II) —画像解析—  
日本女大 樋口ゆき子 ○二宮玲子

目的: 人体モアレの自動処理(I)によりDigital化された情報を入力し、種々の部位における横断面の作成、横断面における面積、周囲、曲率、また人体側面図およびその曲率とDigital Computerにより求めることにより、画像解析を自動化する。

方法: 基準線を中心に、回転角を求め、各方向から撮られたモアレ写真を接続することにより、種々の部位の横断面を作成する。数値積分、補間、スプライン関数等の数値計算法を用いて、横断面の面積、周囲、曲率、側面の曲率等を求める。

結果: 人体モアレ写真のDigital化された情報を入力、自動的に横断面を作成、その面積、周囲、曲率、および側面図、その曲率を求めるプログラム、システムを作成した。